

福祉サービス第三者評価基準

(様式2)

【 共 通 版 】 令和2年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要： 「入園のしおり」やパンフレット等に理念・基本方針について明記し、保護者に対しては入所前の面談や一時保育の利用案内の際に説明をしている。職員については、入職時に配布される行動手帳に、理念や基本方針が示してあり、日々の業務に当たる際の行動規範になっている。毎日の総務ミーティングや毎月の各種ミーティングや全体会で目標を定め、反省なども定期的に行っている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		自己評価
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要： 国、鹿児島県、鹿児島市の事業に関する通知などを活用したり、各種団体などの情報を的確に把握、評価したりして、現在の利用者のニーズにこたえるように日々研鑽を図っているが十分ではない。随時、担当の税理士事務所と会計事務所などと連携をとり、経営状況等の把握と確認を行っている。決算を職員に通知・説明している。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要： 年度終わりに課題を洗い出し、改善策を立て、新年度の課題を設定し、役員や職員に具体策をもって説明し、目標の明確化を図っている。また、当社の基盤である理念とともに、個々の職員に課題意識を持たせ、個々の目標を設定し、課題解決に向けた取り組みを申告書に記入し、定期的に取り組む反省をし、職員会議においても共有化を図っている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		自己評価
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要： 当社の理念に沿った事業計画の作成を行っている。また、1年ごとに見直しを行っている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要： 中・長期計画を踏まえ、具体的な数値設定及び具体的な内容を示し、全職員に周知している。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b)・c
<p>評価概要：</p> <p>理事会・評議会で、検討し、職員に説明し、全職員に周知している。また、未確定な事業や中間報告などについては、理事会にて事前に協議を行い、議事録を公開することとしている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b)・c
<p>評価概要：</p> <p>事業計画等、保護者がいつでも見れるようにホームページを通してワムネットで公開している。なお、わかりやすい資料作成については今後検討する。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	(a)・b・c
<p>評価概要：</p> <p>自己申告や自己評価をPDCAサイクルに基づいて、目標が達成できるようにシステム化している。毎月のミーティングでは各自の目標に対する実践・気づき（反省）について公表することによって職員間での学びにもつながっている。また、毎年各自自己評価を行い、主任・副主任で1次評価を行い、理事長、園長が2次評価を行うようにしている。また、事例発表や外部講師による講演なども取り入れ、互いの学びになっている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	(a)・b・c
<p>評価概要：</p> <p>各ミーティングの中で運営についてや行事や日々の保育において改善が必要な点や課題についての話し合いを定期的に行い、職員間で改善策の検討や改善に向けての取り組みを行っている。また、全職員と面談を実施し、直接、意見や要望を聞くようにし、集約した改善事項については、月2回の経営改善会議にて検討し、改善策をたて、職員に通知し、改善している。調理室の気温上昇に伴う改善措置、老朽化に伴うフェンスの改修、固定施設の補修等を計画中である。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・(b)・c
<p>評価概要：</p> <p>管理規定などに、明確に規定している。また、毎月、幹部・1階職員・2階職員・給食ミーティングに出席し、全職員の意見に耳を傾け、アドバイス等をしている。不在時でも対応できるように、各種マニュアルに記載するとともに、常時ラインで連絡をとりあっている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b)・c
<p>評価概要：</p> <p>利害関係者との適切な関係を保持するように、必要時には話し合いを設けている。鹿児島市開催の会合や園長会等、必要な研修会へ出席することにより研鑽を深め、園内のミーティングを通して職員への周知を図っている。</p>		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 全職員による全体会での事例発表会や研修報告会を実施し、保育の質の向上と方針の共有を行っている。また、課題の明確化に取り組んでいる。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b)・c
<p>評価概要： 月2回の経営会議や公認会計士や社会保険労務士等の協力を得ながら、業務をより効率的に行うようにしている。また、園児数や職員のライフバランスに合わせて環境整備に努めている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 定員増員のための人材確保のために採用活動を行うとともに、運営において必要な人材の確保に努めている。実習生の積極的な受け入れや保育園協会の就職フェアへの参加など、将来の人材確保及び育成を実施している。今年度は、2名の常勤職員が入職した。必要な基本的な考え方は、【ショコラ行動手帳】に基づき日々のミーティングなどで理念の共通理解ができるように努めている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p>評価概要： 当社の理念を含めて、方針などは行動手帳に明確に記載している。また、管理規定や人事考査規定等に明記しており、自己申告書や自己評価等で適切な人事評価を行うとともに、職員面談と臨時面談にて職員の意向や評価を組み上げるようにしている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a)・b・c
<p>評価概要： 職員の労働状況について管理し、有休取得状況や時間外労働についてもしっかりと見直しをし、100%年休取得への取組等職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。結婚や妊娠など女性にとって働きやすい職場にするため、職員への意識づくりや環境整備を常に考え取り組んでいる。仕事だけでなく、私生活の悩みも相談できる体制も確立されている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a)・b・c
<p>評価概要： 年度当初、自己申告書に目標と具体的な実践事項を明記し、1年間を通してPDCAサイクルで計画的に実践している。中間申告や年度末申告など進捗状況を把握するとともに、達成度についても最終面接で確認し、処遇改善につなげている。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b)・c
<p>評価概要： 当園の行動手帳において、期待する職員像を明らかにしている。また、年間計画を通じて教育研修を行っている。カリキュラムは、日々の反省・評価をし、主任と園長が評価やアドバイスをしている。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
<p>評価概要： 主任・副主任を中心に各職員に必要なかつ適切な研修が受けられるように、市や保育園協会等の外部研修については年間計画を作成し、必要な研修に参加できるように配慮している。また、研修で学んだ内容については、全体ミーティングで報告してもらうとともに、研修報告書を回覧することで理解を深めるようにしている。また、全体ミーティングで外部講師による講習も実施している。</p>		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・(b)・c
<p>評価概要： マニュアルの作成を行い、受け入れを行っている。また、保護者に対しては掲示板でのお知らせを行ったり、実習生との事前のオリエンテーションを利用して指導担当者を実習の進め方に関する打ち合わせができるように配慮している。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		自己評価
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 日本財団のHPを利用して、法人・保育所の現況報告を行っている。また、第三者評価の受審結果や日々の保育の内容については保護者の方が手に取れる場所に設置し、閲覧ができる状態にしている。しかし、地域の方に来ていただいたり、地域行事に参加したりしているが、積極的な情報発信については不十分である。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 労務・経理については公認会計士や社会保険労務士の助言を得ながら業務を遂行している。また、毎年職員に向けての決算報告を行っている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		自己評価
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	(a)・b・c
<p>評価概要： 町内会に入り、町内会の行事などにも参加するよう心掛けている。また、園外散歩を通して地域の方への挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図っている。 地域の高齢者施設への訪問や子育てサロンへの出席など、積極的に実施してきたが、昨年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、実質的な交流ができていない。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
<p>評価概要： ボランティアの受入のマニュアルを作成し、受け入れ態勢を整備している。今後、積極的にボランティアを受け入れるよう取り組みをしていきたい。一方、近隣の小学校とは、運動会や発表会、連絡会等で積極的に交流を展開している。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 必要に応じて、保健所・児童相談所・かかりつけ医等と連携が取れるように体制を整えている。現在は、保健所等に情報提供したりや指導を仰いだりすることもある。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 理事や評議の大半は、地域の方で構成されており、地域の声を積極的に聞いている。また、年2回地域の子育てサロンへ出かけている。一昨年は、秋祭りで園庭解放を行い、地域とのつながりも実施できたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、現在は交流ができない状況である。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 一時保育の受入を積極的に行うことにより地域の福祉ニーズに対応している。地域在住の理事・評議員への啓発や掲示板で、保育園での取り組みを紹介することによって、様々なニーズを捉えるようにできている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 基本的には縦割りでの保育を行っているが、年齢別での保育の際には少人数制を取り入れており子ども一人一人の受容できる環境を手厚くしている。性差については名前の呼び方の統一や固定概念のない保育を心掛けている。異文化の観念を持たれている保護者の方には個別で面談を行い理解を図っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 規程の整備を行い、規定に基づいた保育を実践するようにしている。プライバシー保護については全職員研修を行い、個人情報の取扱いについて共通の理解、対応を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 当園の基本情報や基本方針については、鹿児島市保育園協会やりぼん館、ホームページなどで情報開示を行っている。また入園前の資料については、毎年改訂をしよりよいものを提供できるようにしている。利用希望者や見学者については、十分な時間を取り可能であれば子ども達と触れ合うことができるように配慮している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 保育内容や時間については、年度終わりに重要事項説明書を用いて説明を行ったり、随時保育業務支援システム【コードモン】で知らせるなどの対応を行っている。また、年度初めの参観日の日に保護者の方への保育における説明会を行い質疑応答などの場を作り意見交換を行う配慮を行っている。(各クラス毎・全体)特に配慮が必要な保護者の方については、資料を基に個別に面談を行ったりこまめな声掛けをしたり対応を行っている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 転園・卒園については、鹿児島市の指定する保育所保育要録を事前に送付するようにしている。相談方法等についての文書の配布はしていない。また、療育施設などの利用にあたっては、保護者の方の同意のもと、施設訪問や電話での情報交換などを積極的に行っている。</p>		

Ⅲ-1-1 (3) 利用者満足の上向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-1 (3) -① 利用者満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要： 子どもの育ちについては気になることを、毎月のミーティングで取り上げ、保育士間で相談した上で子どもたちが満足していく生活が送れるように配慮している。また、毎年12月に保護者向けにアンケートを実施しその結果をまとめている。必要であれば全体ミーティングで共有事項として確認した上で保育への還元を行っている。また、アンケート結果をもとに、保育業務支援システム【コドモン】で開示し、改善できた部分もある。必要に応じて個人面談を行い、保護者の方と直接話をする機会を設けている。</p>		
Ⅲ-1-1 (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-1 (4) -① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a (b) c
<p>評価概要： 苦情解決の体制を整えており、常時掲示板に掲示している。保育士だけでなく、事務員も心のこもった保護者対応に心がけ、風通しの良い環境整備に努めている。入園時のしおりや意見箱の設置、アンケート等による受付を行っている。</p>		
35	Ⅲ-1-1 (4) -② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a (b) c
<p>評価概要： 送迎の際に保護者とコミュニケーションを取るようになっている。また、隔離対応兼面談室であるユニットハウスの設置を行い意見を述べやすい環境に配慮している。他には毎日の連絡帳や運営アンケートでも意見をいただけるように配慮している。相談などの方法や相手などは重要事項説明書において周知している。</p>		
36	Ⅲ-1-1 (4) -③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	(a) b c
<p>評価概要： 毎日の連絡帳等で保護者から意見等があった場合、保育士間のラインで、即時共有できるようにしている。また、対応マニュアルを作成し、適切に対応している。毎月のミーティングだけでなく、必要に応じて幹部への報告があり、随時検討を行って対応している。</p>		
Ⅲ-1-1 (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-1 (5) -① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	(a) b c
<p>評価概要： ヒヤリハット報告・事故報告の整備を行い、事故があった際には職員間でコドモンにて共有できるようにしている。また、事故が発生した場合には、マニュアルに沿って即時対応し、事故の要因や再発防止策を必ず検討するようにしている。食中毒に関しては研修を行い情報共有を行っている。</p>		
38	Ⅲ-1-1 (5) -② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要： 感染症マニュアルを作成し、感染症が発生した場合には、保護者や職員に周知をし、感染拡大防止に努めている。インフルエンザなどの感染症については家族内の感染者がいる場合にも基本的に登園を控えていただくようお願いしている。また、新型コロナウイルス感染症については、市の方針をもとに運用している。各部屋には、感染症についての一覧表を作成している。体調不良児がいた場合は対応マニュアルに沿って対応している。</p>		
39	Ⅲ-1-1 (5) -③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a (b) c
<p>評価概要： 職員参画でマニュアルを作成し、災害時の対応について共通理解を図っている。年12回実施のうち4回は予告なしの訓練も行い、迅速な対応が出来るように訓練している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		自己評価
Ⅲ-2-1 (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-1 (1) -① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a (b) c
<p>評価概要： 標準的な実施方法は各クラスに行動マニュアルとして掲示している。</p>		

41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 日々の保育についての見直しや業務についての見直しは、毎月のミーティングで共有している。また、日々改善が必要な点については、職員間で話し合いをするようにしている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 毎月の指導計画については、運動・学習(製作)・音楽(リズム遊び)・食育・健康(生活)・人間関係において全園児、個々の発達状況を見て作成している。クラス計画については、必要なねらいを定め明示し、共通理解を図っている。また、必要な際には、関係機関との連絡を取りながら進めていくようにしている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 毎月の指導計画については、担当職員だけではなく他の職員の意見も参考にしながら作成をし、それぞれの発達段階に適した見直しを行っている。1週間ごとに幹部保育士による評価も行っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・(b)・c
<p>評価概要： 全ての園児に対して同じ記録の様式を使用し、細かに分かれた区分によって把握している。毎月のミーティングで職員間での情報の共有を行っている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・(b)・c
<p>評価概要： 園児の名前が書かれている書類等については、事務室にあるシュレッダーで処理するようにし、個人情報の記載がある書類については、決められた場所での管理・保管を行っている。保育業務支援システム【コドモン】を導入し、職員、児童1人に対してIDとパスワードを発行している。</p>		

福祉サービス第三者評価基準

【 保育所版 】 令和2年4月1日改定

第三者評価内容評価基準（保育所版）

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価
A① A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a・(b)・c
評価概要 ・毎年各学年の保育過程を反省し、子どもたちに合わせた保育過程を作成している。また、園の特性である異年齢保育・年齢別保育・郷中教育なども取り入れた保育過程になる様考慮している。年齢別グループでは、各年齢発達に合わせたカリキュラムを組んでいる。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価
A② A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・(b)・c
A③ A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・(b)・c
A④ A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
A⑤ A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a)・b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c
A⑩ A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑪ A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c

評価概要

A-1-(2)-①について

- ・子どもたちの生活の流れに合わせて保育室のレイアウトを変え、環境を整える様にしている。
- ・寝具は業者のものを使用し、シーツも毎日交換を行っている。
- ・7月からは沐浴を開始し、体を清潔に保ち入眠出来るようにしている。

A-1-(2)-②について

- ・ICT支援システム(コドモン、連絡ノート)において家庭の状況を把握している。
- ・子どもの人権を尊重する為にニックネームではなく、名前に「くん」「ちゃん」をつけて呼ぶように徹底している。
- ・保育士の言葉遣いは、「しなさい」ではなく、「～しよう」という言葉遣いになるように気を付けている。

A-1-(2)-③について

- ・シヨコラ集会で挨拶や衣服のたたみ方など生活習慣に関する事を教えている。
- ・異年齢保育を行っていることで、年上の子は年下の子への接し方を学び、世話をする自覚を持っていく。年下の子は年上の子にお世話されることで憧れを抱く。
- ・トイレトレーニング屋食事の援助は月齢、年齢に応じて個別に行っている。

A-1-(2)-④について

- ・戸外では安全に遊べるように人数を考え、遊ぶ時間を決めている。
- ・自己表現ができるように、音楽教室や絵画教室を取り入れている。

A-1-(2)-⑤について

- ・離乳食の移行の際、個別に面談を行い個々の状況に合わせて移行できるようにしている。
- ・人数や生活習慣を考慮し、レイアウトを変えるなど配慮している。
- ・室内で滑り台やマット運動を行い、体幹を鍛えている。

A-1-(2)-⑥について

- ・保育室だけでなく、園庭や2階での活動も積極的に取り入れ、活発に体を動かせるようにしている。
- ・1歳児に於いては月齢にあわせて玩具などを配慮して与えている。

A-1-(2)-⑦について

- ・就学に向けて、幼保小連絡会などで地域の幼稚園、保育所、小学校と連携を図り、就学前には子どもたちひとりひとりの連絡会を行って卒園する子どもたちがスムーズに小学校入学ができるようにしている。
- ・制作や運動遊びを子どもたち自身で楽しめるように環境を整え、子どもの主体性を尊重し自由に発想し遊びを発展させられる活動を取り入れている。

A-1-(2)-⑧について

- ・3か月に1回、臨床心理士の先生による訪問で発達や行動が気になる子どもたちの観察の結果、園での対応を指導している。
- ・発達や行動の気になる子どもたちについては、保育士間での話し合いを元に、保護者の方と面談を行っている。
- ・専門機関とは送迎時に情報交換をしたり、必要な場合に施設訪問、電話連絡を行うなどしている。

A-1-(2)-⑨について

- ・各クラス引き継ぎノートやコドモンの園内連絡で保育士間の情報交換を行っている。
- ・延長保育においては、異年齢で過ごすのが、日頃の異年齢の関わりを持たせることで、特にトラブルなく過ごすことができている。
- ・暑い時期は、子どもたちの体力を考慮して夕方の園庭遊びの時間を減らすなどしている。

A-1-(2)-⑩について

- ・就学に向けて、5月に年長児を対象に個別面談を行っている。面談で保護者の就学の不安を聞き取りし、保育園で就学に向けて取り組んでいること(数の概念、字の練習、小学校訪問、小学校について、挨拶等)を説明している。
- ・保育要録に関しては、過去のミーティングで挙げられた事柄も詳細に記載する様にしている。
- ・1月から午睡の時間を無くし、就学に向けて生活リズムを整える様にしている。(午睡が必要な子どももいるので個別に対応している。)

A-1-(3) 健康管理		自己評価
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c

<p>評価概要</p> <p>A-1-(3)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調不良や怪我については事故報告書や申し送りノートにて保育士で情報共有し、迎えの際に保護者にも状況を伝えるようにし、翌朝保護者の方に子どもの家庭での様子を確認している。 ・午睡チェックを0.1歳児は5分毎、2歳児は10分毎、3-5歳児は20分毎に行って表に記入している。 ・年度が替わる時に、予防接種などの記録のある児童票の見直しを保護者の方をお願いしている。 ・体調不良の場合は、保護者へすぐに電話連絡し早めの迎えをお願いしている。迎えを待つ間は園舎横のユニットハウスにて隔離対応を行っている。 <p>A-1-(3)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の内科検診・歯科検診を行っている。結果は個別にファイリングしている。 ・歯磨き指導を行ったり、食に関心を持てる様に食育活動を行っている。(野菜の苗植え、収穫等) <p>A-1-(3)-③について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患・慢性疾患のある子どもに対しては、医師の指示書を提出してもらい対応している。 ・ミーティングや勉強会では、アレルギー対応食への提供について検討を重ねている。 		
<p>A-1-(4) 食事</p>		<p>自己評価</p>
<p>A⑮ A-1-(4)-①</p>	<p>食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>A⑯ A-1-(4)-②</p>	<p>子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <p>A-1-(4)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間で食育計画を作成し、月2回食育の計画を立てている。 ・年齢毎に適量を設定し、個人差や食欲に応じて量の調節を行っている。 ・提供した食事の写真を夕方までに玄関横のホワイトボードに掲示し保護者に知らせている。 <p>A-1-(4)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせて行事食(七夕、節分、ひな祭りなど)を提供している。 ・残食の調査記録や検食簿を献立調理に反映している。 ・子どもの状況に合わせて、食材を小さくしたり刻んだりして提供している。 ・給食ミーティングで、子どもの食事の状況や食材の大きさなど考慮して検討し改善している。 		

A-2 子育て支援

<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		<p>自己評価</p>
<p>A⑰ A-2-(1)-①</p>	<p>子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを活用し、日常の様子を家庭と園両方で把握し合っている。 ・コドモンにて月のカリキュラムを一覧でお知らせし、ホワイトボードにも掲示している。 ・子どもの成長に応じて、面談を行ったり、ミーティングで気になることがあれば、個別に話す機会を設けている。 		
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		<p>自己評価</p>
<p>A⑱ A-2-(2)-①</p>	<p>保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>A⑲ A-2-(2)-②</p>	<p>家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>

評価概要

A-2-(2)-①について

- ・保護者との面談に園舎とは別のユニットハウスを利用する事で、保護者が周りを気にせずに相談出来る環境を整えている。
- ・相談内容、子どもや保護者の様子など幹部で協議し、対応について決定している。

A-2-(2)-②について

- ・朝の受け入れの時、直接保護者の方から体調を聞き、視診で目についた傷など状況を尋ねている。
- ・定期的な職員研修は行ってない為、実施努力を行っている。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	自己評価
A⑳ A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉑・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none">・各年齢の発達目標を設定し、それに沿って自分の保育に足りない物はないか自己評価出来る様にしている。・毎月目標を設定し、ミーティング資料にて実践する事で、気づきや保育を見直す機会を作っている。	